

令和 6 年度 社会教育委員 第 4 回定例会議の概要

1. 日時	令和 7 年 2 月 14 日（金） 15：30～17：20
2. 場所	501 会議室
3. 出席者	【社会教育委員】 9 名出席（柳澤委員 欠席） 【市職員】 小松教育長 小岩教育部長 湯原生涯学習課長、 寺澤生涯学習係長、宮崎更埴図書館業務係長 宮坂社会教育指導員
4. 会議内容	【委員会の進行状況】 1. 開会（小林いせ子副委員長） 2. あいさつ （小松教育長） 生涯学習の諸事業が滞りなく実施できた。委員の皆様の専門性、得意分野發揮してもらったおかげである。来年度は、教育委員会の大きな組織改編がある。「子ども・教育部」の名称が使われる。市民の皆様の生涯学習の熱が高まるようによろしくお願いします。 （小林京子委員長） 白鳥園近くの河川敷がよい環境になりそうで、できたらすごいなあと期待している。社会教育委員も小さな力だが、よい千曲市になるように皆様の力をお借りしたい。 3. 会議事項（小林委員長：進行） （1）研修会参加報告について（寺澤係長） 地域ぐるみの共有フォーラム（10/19 須坂市 旧上高井郡役所） 社会教育委員 5 名 事務局 2 名 参加 第 3 分科会で小林委員長が「夏休みの子供の居場所づくりと活動づくり」と題して発表した。 北信地区社会教育連絡協議会 理事会（1/31 児童養護施設 恵愛） 小林委員長 事務局 1 名 参加 （2）令和 7 年度社会教育委員会議（関連事業）開催計画（案） （寺澤係長） （3）委員からの活動報告について 小林京子委員長： サマースクールの取り組みをした。やるのは大変だったが、やってみるとつながりが生まれる。普段社会教育委員の活動は難しいが、社会教育委員の仲間のできることを考えたい。活動することは重要で、大切。 小林いせ子副委員： 小さな赤ちゃんへの絵本プレゼントを 1 年間で 20 回ほど行った。絵本アドバイザーとしてやっているが、子育て育児アドバイザーにもなっているような感じである。絵本は大切である。本で人をつなぐことをやっていきたい。絵本プレゼントは、社会教育委員で見に来てほしい。千曲万博では、折り紙コーナーで大人に鶴を折ってもらった。千羽鶴を折るということに

真剣な取り組みをしてれていた。

大谷委員：千曲市の中に、いろいろな団体があり、それをつないでもらっていることがわかり、ありがたいと感じた。もっと勉強しなければと思う。

山崎委員：地区の人権推進委員会をしており、講師を招いた研修会を計画した。宮坂税務課長にお願いして、研修会を行い、35名集まった。

寺澤委員：社会福祉協議会の方もやっていたが、社会教育委員との線引きはないと感じた。やってみて、参加する人が決まってきたいて、もっと参加者を広げたいと感じた。地域に知的障害者の方の寮がある。共同作業の時、これまでは仕事量を少なくしていたが、今回はもう少し多めにして、やり方を伝えておいた。すると、よかったという反応をいただくことができた。

堀口委員：特になし。

児玉委員：家の近くのキティーパーク周辺のセツブンソウや桜の花見など、人がたくさん来ている。セツブンソウの世話をしている方も高齢化しており、何かできたらと思っている。

丑丸委員：研修で学んだことを、返せるようにしたい。サマースクールや千曲万博のお手伝いをして、子どもたちと関わることで元気が出ると感じた。そのようなことをやっていきたい。

窪田委員：サマースクールの手伝いをして、子どもたちと直接関わることで、いろいろなことがわかってきた。そのことが、テレビの取材などに発展している。千曲万博で太鼓づくりワークショップをやってみた。外国のもの（太鼓）に触れることができる場を作ることができてよかった。

- (4) 社会教育指導員からの報告について（生涯学習課 宮坂社会教育委員）
「イギリス ～くらし・人々・気候・地形・交通・いろいろ～」
令和5年12月のイギリス滞在で、見たこと、感じたことについて

(5) その他

- ・第四次千曲市子ども読書活動推進計画について（宮崎更埴図書館業務係長）
- ・生涯学習課所管事業の実施報告（寺澤生涯学習係長）
モデルロケット 成人式 千曲万博（こどもひろば）

1月26日の「こどもひろば」では、社会教育委員のみなさんの協力をいただき、100名ほどの来場があった。折り紙、メンコ、太鼓のワークショップなどで楽しんでいた。この事業は、今後も継続していきたい。

4. その他

坂本龍太郎さんの講演会「今、ウクライナの子供達は」の紹介。
こどもひろばで折り始めた鶴について。

【主な協議・意見・要望等】（進行：小林京子委員長）

（○は社会教育委員の質問、▲は事務局からの答弁）

3. ー（１）に関すること

○丑丸委員

地域ぐるみの共有フォーラムで発表のあったオレンジファム（千曲市のフリースクール）に興味を持った。学校と一緒に支援会議などをやる等、連携の中身を知りたい。保護者の学校へのクレームが出る場になる可能性があるが、どうか。

▲小松教育長

学校との連携はスムーズに行われている。校長の判断でオレンジファムに行った日は出席扱いになることもある。また、支援会議にも代表の中島さんが出席することもある。市の相談関係者連絡会のメンバーになってもらい、情報共有をしながら、対応している。このことに関しての不満は聞いていない。来年度からは利用者に市の補助を出す予定。

○小林いせ子副委員長

オレンジファムに１～６年生で行ったときに卒業証書はもらえるのか。

▲小松教育長

もちろんです。

○大谷委員

フォーラムで中島さんの発表を聞いて、熱意があってよくやっていると感じた。しかし、ボランティアの熱意に頼ってばかりではいけないという意見が出て、その通りだと思う。フリースクールにも行けない子どもたちもいる。学校の職員を多くして、そのような子どもに関われるように、行政でもお金を出してほしい。

▲小松教育長

千曲市では、チャイルドサポーターという方が家庭訪問するなどの取り組みを始めた。孤立しないようにしていきたい。今年度から２名体制で対応している。

○小林京子委員長

長野県は不登校や自殺が多いと、ニュースで見ると。改善していけるように、そういうところに手厚くしてほしい。

○丑丸委員

オレンジファムに見学に行きたい。

5. 閉会（小林いせ子副委員長）